習志野市文化振興計画（案）パブリックコメント 提出された意見等の概要

1．結果の概要

◆実施期間：令和7年11月15日～12月15日
◆受付件数：合計 2件（2名）
◆意見件数：　5件

2.意見等の概要及びこれに対する市の考え方

No.	項目名	いただいたご意見の概要（整文のみ）
1	第4章　施策と取り組み 方向性2文化をつなぐ～継承と育成～施策1こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策1未就学のこどもたちが文化芸術によって感性を育む機会の提供	P40 方向性2 文化をつなぐ 継承と育成 施策1 こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策(1) 未就学のこどもたちが文化芸術によって感性を育む機会の提供 「未就学のこどもたちの豊かな感性と創造性を育むため、こどもたちが文化芸術に触れるアートスタートを実施する」となっています。具体的にはブックスタート事業の推進が謳われていますが、昨今、良質な芸術文化体験も非認知能力を養うといわれています。プロによる人形劇鑑賞などもアートスタートとして予算を組み、取り組んでいただきたいと思います。
2	第4章　施策と取り組み 方向性2文化をつなぐ～継承と育成～施策1こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策2教育における文化芸術活動の推進	小学校・中学校・高等学校・公民館等において、文化芸術鑑賞や体験… と謳われています。 取り組み内容No.19では「音楽を鑑賞する機会を提供します」 とされていますが、舞台劇の観賞にも予算を組み取り組んでほしいです。 この心が成長する時期、生の舞台劇を観ることによって心を動かされる、他の人の考え方を知り多様性を知る、など学ぶことは沢山あります。ぜひ、習志野市の全てのこどもたちが、1年に一度でも良質な舞台劇に出会えることを願います。そのことが芸術に触れる一歩となり、今後、豊かな人生を歩んでいくことにつながると思います。
3	第2章　習志野市の文化を取り巻く動向 3 習志野市の文化振興の現状と課題 (1)市民の文化芸術の鑑賞や活動について	広報誌に関して、新聞を取ってないご家庭も多いので、広く見ていただくためには毎週配られる地域新聞と一緒に 　配布するなどの工夫が必要かと。箇所個所に置かれているが、そこを利用している者にしかわからない。 　あと、HPがわかりづらすぎて、目的までたどり着かない。最初の画面をもっとわかりやすくするべき。
4	第2章　習志野市の文化を取り巻く動向 3 習志野市の文化振興の現状と課題 (3)鑑賞・活動の場である主な施設等について	公民館の利用に関しては、団体登録が基本なので個人の自由度がない。 　例えば、学生が定期試験や受験時期に勉強できるスペースを空いている部屋を使って提供するなど、サークル関係者 　以外の有効利用をもっと提供しないと利用しないと思う。 　自由度のある集まれる場を作る。 図書館の利用に関しては、本のタイトル／種類・貸し出し状況・他図書館との連携などネット環境が必要。 　漫画やアニメを取り入れて、まずは図書館を利用してもらう。(←すでにあったらごめんなさい)

No.	項目名	いただいたご意見の概要（整文のみ）
5	第3章 将来像と方向性	文化活動をする割合が低いのは、時間がないという理由以外として、サークルなどの団体に所属しなければならないからだと思う。この「参加しなければならない」という義務感が一番の原因だと思われる。 逆に、鑑賞する割合が高いのは、単発だからなのであって、文化活動ももっと気軽に単発で参加できる機会を設ければ　参加者も増える。 ただ、これを企画するには大変なので、そこはサークル団体に協力してもらう。 先生を探す手間や料金も省けるし、サークル側も知ってもらい、会員獲得のチャンスにつながる。かも。。 文化活動ができる年代はどうしても決まってしまうので、全体というより活動しやすい年代(子供(小学生まで)や 50代以降の中高年)を中心に、その年代に見合ったイベントを催していけばいいと思う。 毎月のイベント予定表を、広報誌と同じく地域新聞に折り込んで広く認知してもらうようにすればいいのでは。 学校を通して配布されれば親子共に、より認知されるのでそれもありかと。